

令和8年度

胃がんリスク層別化 [ABC]検査(郵送)



のご案内



自宅で微量採血し
郵送で高精度検査

在宅血液検査(郵送)でピロリ菌感染の有無・胃の萎縮度合いを調べて今後の胃がんリスクをA・B・C・Dの層別に分類して判定する検査です

*過去に服薬によるピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果にかかわらずE群(除菌群)と判定されます。
ABC判定の対象にならないため本ご案内の郵送検査実施は必要ありません。
除菌治療後は医師の判断に従って定期的に検査を実施してください。

検査
対象者

関西電力健康保険組合に加入している方で、

当該年度内(4月1日~翌年3月31日)に **35歳~74歳**になる **被保険者**(本人)・**被扶養者**(家族)

- 当該年度中に75歳になる方は、誕生日を迎える前日までが対象
- 対象外の方の利用や重複検査が発覚した場合は、健保補助額の全額を返金させていただきます

約1万円の検査を **1,000円** で検査できます!
申込み締切日: 令和9年 **2月28日(日)** まで

さらに 特典

「オンライン健康相談」
30日間無料クーポン付き

関西電力健康保険組合

1 「胃がんリスクABC検査」とは…



「血液検査」により | ●ピロリ菌感染の有無(ピロリ菌抗体検査) | を測定することで、
●胃粘膜萎縮の程度(ペプシノゲン検査)

胃がんの発生リスクを A～D の4群に分類する検査です。

ABCD判定 ↓	ピロリ菌 抗体	ペプシノ ゲン値	胃粘膜状態の予測		1年間の胃がん 発生頻度の予測	胃がんの 危険度
A群	－ (陰性)	－ (正常)		ピロリ菌感染がなく、 胃粘膜萎縮もない	ほぼ0人	胃がんになりにくい
B群	＋ (陽性)	－ (正常)		ピロリ菌感染があるが、 胃粘膜萎縮は軽度	1,000人に1人	胃がんになりやすい
C群	＋ (陽性)	＋ (異常)		ピロリ菌感染があり、 胃粘膜萎縮が進行中	500人に1人	
D群	－ (陰性)	＋ (異常)		胃粘膜萎縮が高度で、 ピロリ菌も住めない	80人に1人	

認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構「胃がんリスク層別化検査管理指針」を元に作成

*過去に服薬によるピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果にかかわらずE群(除菌群)と判定されます。
その他、胃がんリスク検査の実施対象外となる症例等は「お申込前にご確認ください」をご参照ください。

2 「胃がんリスクABC検査」の結果が陽性(B・C・D群)判定だった場合は… 2ヶ月以内を目途に医療機関を受診してください!

「除菌治療」受診の流れ



医療機関を受診

主に「消化器内科」で医師の診察・精密検査等を実施します。



抗菌薬による除菌治療

胃酸の分泌を抑制する薬と2種類の抗生物質の3つの薬を一週間服用します。



除菌確認のための診察

除菌ができたか、呼吸検査等で確認をします。
万が一除菌がされていない場合は、再度抗菌薬が処方されます。



除菌完了!

以降は医師の指示のもと、定期的に診察・精密検査等を実施してください。

3 医療機関受診後は… 健保組合からの「Webアンケート」にご回答ください

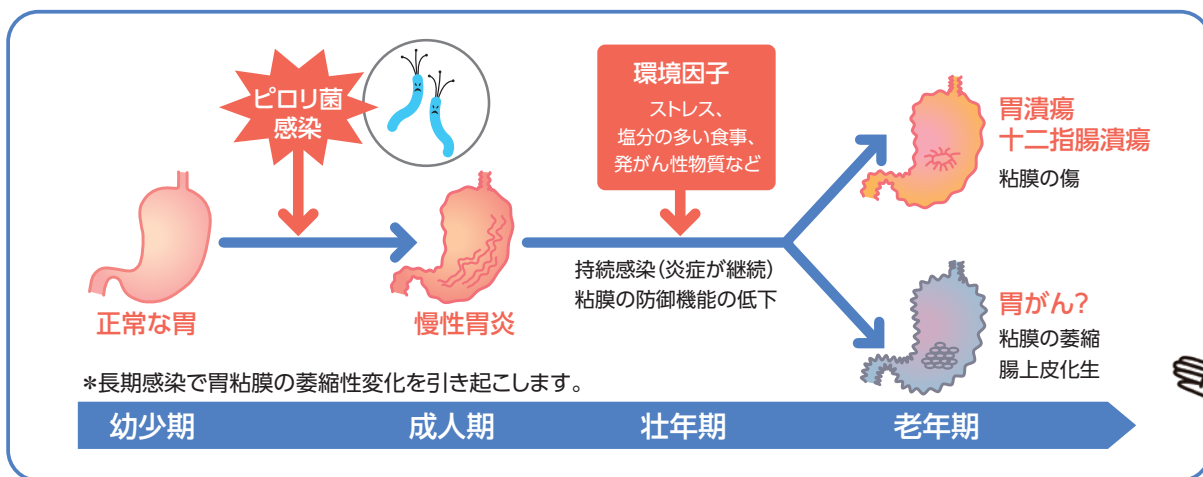


検査結果通知時に調査依頼のご案内をいたします。

(ご回答が確認できない場合には健康保険組合または委託先よりご連絡をする場合がございます。)

業務委託先：株式会社サンプリ

「胃がん」の原因の多くは「ピロリ菌」感染です!



「胃がん」の早期発見・早期治療のために

- 「胃がんリスクABC検査」でB・C・D群と判定された方は、除菌治療後も定期的に検診(胃部内視鏡検査)を行ってください。
 - 「胃がんリスクABC検査」でA群と判定された方も過去5年以内に画像検査を受けていない場合は、胃部内視鏡検査を受けましょう。
- 自覚症状がある方はお早めに医師に相談してください。

ピロリ菌除菌治療に成功した場合、胃がん等の胃の病気になるリスクは1/3程度下がるといわれていますが、ゼロになるわけではありません。
「胃がんの早期発見のために」定期的な胃部内視鏡検査が有効といわれています。

胃部内視鏡検査とは…



先端に小型カメラ、またはレンズを内蔵した、太さ1cm程の管を口または鼻から入れ、胃の内部を観察し、場合により治療を行うものです。



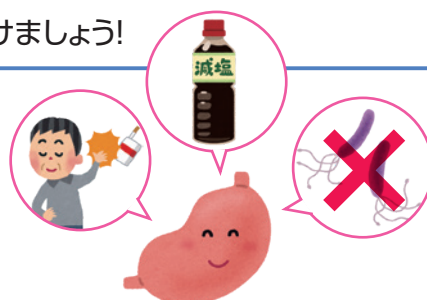
近年では、経口内視鏡より細い管の「経鼻内視鏡」を実施する医療機関も増えています。



「胃がん」の予防のために

- 「胃がんリスクABC検査」でご自身のリスクを確認したら、
今後は「胃がんにかかりにくい生活習慣」を心がけましょう!

- ☑ 禁煙すること
- ☑ 塩分や高塩分食品の取りすぎに注意すること
- ☑ ヘリコバクター・ピロリの除菌



(出典:国立研究開発法人国立がん研究センター「がん情報サービス」)



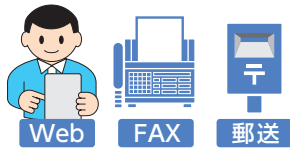
お申込みから検査結果お届けまでの流れ

申込締切 **令和9年 2月28日(日)** 到着日まで

お申込み用
二次元コード



お申込み



Web・FAX・郵便のいずれかでお申込みください。
FAX・郵送の申込書はダウンロードしてご利用ください。
(下記の「お申込み前にご確認ください」とWeb申込画面または
申込書の「注意事項」の内容をよくご確認ください)

<https://zaitaku-kensa.com/form/622/696ed44d98b24>

お支払い



コンビニ専用の払込用紙をお送りいたします。
お近くのコンビニでお支払いください。

※Web申込みの場合は「クレジットカード払い」も選択できます

- お申し込みされた時点で手続きが始まり、自己負担金払込用紙が送付されます。
- 払込用紙の納付期限は、払込用紙発送後約2週間です。払込用紙記載の納付期限内にお支払いください。
- ご入金後のキャンセル・返金はできませんのでご了承ください。
- 払込用紙の再発行につきましては手数料がかかりますので、紛失されませんようお願いいたします。

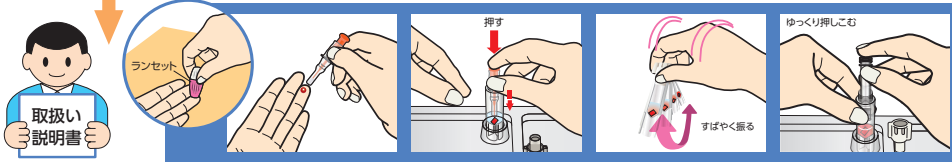
検査キット
到着



ご入金確認後、約3~4週間ほどで
検査キットが届きます。

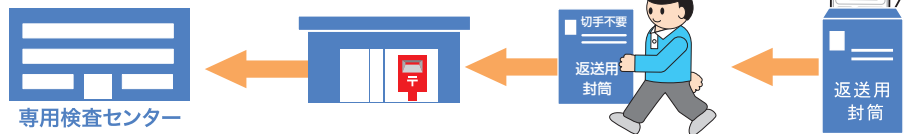
- ご入金後、4週間を過ぎても検査キットが届かない場合は(株)サンプルリにご連絡ください。

採血



キット到着後1ヶ月以内にご利用ください!

検査キット
返送



専用検査センター

約2週間ほどで検査結果シートが届きます

検査
結果



検査完了のお知らせメールに記載のURLよりログイン
して、検査結果をいつでもご確認ください。

判定が陽性の場合には、
速やかに医療機関受診を

「オンライン健康相談」も
ご利用ください
(30日間無料)

お申込前にご確認ください

- 次に該当する方は、胃がんリスク検査の実施対象外となるためお申込みできません。(正しい検査結果を得られない可能性があるため/医療機関で医師の診察・指示を受けてください)
 - ・医療機関で服薬によるピロリ菌の除菌治療を受けたことがある方
 - ・食道、胃、十二指腸の疾患が強く疑われるような自覚症状がある方
 - ・食道、胃、十二指腸の疾患で治療中の方
 - ・胃酸分泌抑制薬(プロトンポンプ阻害薬)を飲んでいて、または2ヶ月以内に飲んでいました
 - ・胃の切除手術を受けたことがある方
 - ・腎機能障害がある方(目安:クレアチニン3mg/dL以上)
- ・免疫不全・低下状態、ステロイド服用中(塗り薬は除く)の方
- 血液検査キットのご利用ができない下記に該当する方もお申込みはご遠慮ください。
 - ・止血能力の低下している方(ワーファリン等の薬剤を服用の方)
 - ・アレルギーショックのある方(アルコール消毒に対してアレルギー症状のある方)
- 検査結果で陽性(B・C・D群)と判定された場合はすみやかに医療機関を受診してください。また、受診後は検査結果通知時にご案内するWebアンケートにご回答ください。ご回答がない場合は委託先(株)サンプルリよりご連絡をいたします。
- 健康保険組合は検査結果を健康増進事業に利用します。

●令和8年度内に人間ドックおよび婦人科健診の助成制度をご利用の方も、**本検査をご利用いただけます**

お問い合わせ 関西電力健康保険組合 TEL.06-6445-7367 〒530-6691 大阪府大阪市北区中之島 6-2-27

お申込み
について

受付業務委託先 株式会社 サンプルリ
TEL.03-3549-0810
FAX.03-3549-0830
10:00~17:00(土・日・祝日・夏期休業・年末年始は除く)



検査キット
について

検査機関 株式会社 リージャー
デマカル サポートセンター
☎.0120-100-302
9:30~17:30(土・日・祝日・年末年始は除く)



※株式会社リージャー、株式会社サンプルリが知り得たお客様の個人情報は、本検査以外の目的で使用することはありません。